

令和5年度おいらせ町二十歳の記念式典 式辞

あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、輝かしい新年を迎えられたものと心よりお慶び申し上げます。

本日晴れて「二十歳の記念式典」を迎えられた成人の皆さん、誠におめでとうございます。また、今日までご子息を育ててこられました、ご家族の皆様方、学校でご指導くださいました恩師の先生方にも、敬意を表しますとともに、お慶びを申し上げます。

さて、皆さんは既に民法上、成年として生活しているわけですが、二十歳という節目の年を迎え、これまでたくさんの方々から支えられ、様々なことを教わってきたことにより、今日という日を迎えられていることに感謝しなければなりません。

二十歳になるということは、新たに法律上の権利が与えられると同時に、義務が課せられることにもなります。社会人として、自分で考えて行動し、その結果に対しては責任を負わなければならないということをしっかりと認識し、今後の人生を歩んでいただきたいと願っております。

少し昨年を振り返りますと、皆さんもご承知のように、野球の大谷翔平選手がアメリカン・リーグで最優秀選手に選ばれ、バスケットボールの世界カップでは、男子日本代表が48年ぶりに自力でオリンピック出場を決めるなど、スポーツ分野において日本選手が目覚ましい活躍に心が躍りました。その一方で、未だ続くロシアによるウクライナ侵攻や急激な円安による物価上昇の経済的影響や「地球沸騰化」と言われる異常気象など様々な課題を目の当たりにした年でもあります。

さらには、皆さんもその悲惨な状況をテレビや新聞を通して目にしていると思いますが、今年早々の能登半島地震に見る自然災害や、羽田空港におけるヒューマンエラーによる航空機事故の発生と、甚大な災害が続いております。

おいらせ町においても、自然災害や全国的な課題となる人口減少問題を含め、様々な事案に対応するために、各関係機関と連携を密にし、町民・議会・行政が協力して各種事業を進めているところであり、そのような中で、おいらせ町を今よりさらに住みやすく、魅力的な町に変えていくためには、皆さんのような若い世代が持つ、溢れんばかりのパワー、発想力、情熱が必要です。町を愛し、ふるさと「おいらせ町」に誇りを持って、元気な町を創るため、ともに歩んでいただきたいと思っております。

これから、皆さんの歩む道には、喜びや楽しみが待っている一方、悩みや苦勞もあるかと思えます。しかし、人に寄り添う思いやりの気持ちが幸せを呼び、多くの出会いと一つひとつの努力の積み重ねがいつか必ず大きな実を結ぶことと信じております。

結びになりますが、新成人の皆さんの輝かしく洋々とした前途を祈念するとともに、本年が良い年となりますようお祈り申し上げ、式辞といたします。

令和 6年 1月 7日

おいらせ町長 成 田 隆